

# 一般質問通告表

平成25年第7回沖縄県議会(定例会)

12月06日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	奥平 一夫(県民ネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 普天間基地問題について</p> <p>ア 知事公約の「一日も早い危険性の除去」について進捗状況を示せ。</p> <p>イ 2期目の選挙では「県内移設」から「県外移設」へと政策変更し、力強く踏み込んだ公約を掲げましたが、これからも堅持していきますか。</p> <p>ウ 「日米安保によって沖縄の負担が過重に集中をしている。だからあえて「国外」と言わずに「県外」と言っている。それは沖縄が崩してはならないスタンスだ」と発言しているが、その狙いと真意を聞く。</p> <p>エ 政府の「県外移設はとんでもない」恫喝発言について知事の見解を聞く。</p> <p>オ 2005年の米軍再編協議で日米の「現行計画」と違う別のプランが米側から出されたが日本側がそれを拒否したことが判明している。昨年12月26日最後の記者会見において、森本前防衛大臣の「普天間の辺野古移設は地政学的に軍事的目的で沖縄でなければならぬ」ということではなく、政治的に考えれば国内に受け入れるところがなく「沖縄が最適だ」という発言等を見れば、日本国の安全保障を「沖縄に捨て石になってもらう」ことで完結させようという差別姿勢がある。知事の見解を聞く。</p> <p>カ 自民党中央は県選出国會議員及び沖縄県連の民意を裏切る「公約撤回」で「外堀を埋めた」としている。その後知事への埋立承認を求めるとしているが、知事の見解を伺う。</p> <p>キ 高良副知事、公室長のハワイ州知事アバクロンビー氏と相次ぐ会談の目的と成果について伺う。</p> <p>(2) 嘉手納基地問題について</p> <p>ア 嘉手納基地周辺地域住民の平和的生存権(安心と安全度)について知事の見解を聞く。</p> <p>イ 普天間飛行場と比較して危険性の度合いはどうか。知事の見解を聞く。</p> <p>ウ 嘉手納基地の「固定化が既成事実化」している。国もそのことを無視しているが知事の見解を聞く。</p> <p>エ 「嘉手納基地返還」について知事の見解を聞く。</p> <p>(3) オスプレイの普天間配備やさらに先島島嶼防衛を念頭に与那国への陸上自衛隊沿岸監視部隊や那覇基地への戦闘機部隊の拡充強化配備、下地島空港利用を想定した調査研究費の計上と沖縄の負担軽減とは名ばかりの軍備増強が続いている。軍事基地をめぐる異常な機能強化について知事は反対を求めるべきである。</p> <p>(4) 下地島空港問題について</p> <p>ア 利活用に向けた企業への要請活動の経緯について(JALの再開、ANAの継続の可能性も含めて)</p> <p>イ 要請活動が不調の場合、「休港」も選択肢にあるとしている。休港してもメンテナンス費用は必要になる。</p> <p>ウ 検討協議会で宮古空港・下地島空港の役割分担や運営方法についての課題が検討されたというが、どのような意見で集約されたのか。</p> <p>エ 下地島空港と残地のポテンシャルを伊良部架橋開通でどう生かしていくか。知事の見解を伺う。</p>			

## 2 県経済(財源及び財政)と行政運営について

- (1) 県経済の国への依存度は(財源)は他府県と比較してどうか。
- (2) 交付税(県民1人当たりの普通交付税)は他府県と比較してどうか。
- (3) 米軍関係受け取り(軍用地、軍雇用者所得、米軍への財・サービス提供など)は幾らか、それは県民総所得の幾らか。その経緯も示せ。
- (4) 基地関連収入は幾らか、それは県としてどう解釈しているか。恩恵的に交付されるとの捉え方か。
- (5) 県行政の運営形態及び経営効率についてどのように評価しているか。
- (6) 教育関係予算と教員数、生徒数、学校規模、数についてどういう認識か。

## 3 離島医療について

- (1) 小規模離島における保健衛生の実態と課題について伺う。
- (2) 離島におけるがん医療の確保はどのように進んでいるのか伺う。
- (3) 離島における恒常化する医師不足の解消に向けた取り組みについて

## 4 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成25年第7回沖縄県議会(定例会)

12月06日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	仲宗根 悟(社民・護憲)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢に関して</p> <p>(1) 日米両政府は外交・防衛担当閣僚による安全保障協議委員会(2プラス2)において米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設が「運用上、政治上、財政上及び戦略上唯一の解決策」であると確認、合意し共同文書を発表し、県内推進の姿勢を示したが、知事は「地元の理解が得られない移設案の実現は事実上不可能」との姿勢は変わらないか伺う。</p> <p>(2) 稲嶺名護市長は、「名護市民の誇りをかけて移設に断固反対する」として政府が出した辺野古沿岸部の埋立申請を承認しないよう知事へ意見書を提出した。地元理解が得られない以上不承認にすべきである。知事の見解を伺う。</p> <p>2 基地問題に関して</p> <p>(1) オスプレイの飛行や離着陸訓練の激化によって宜野座村城原区集落周辺においては100デシベルを超える騒音被害や低周波での健康被害の不安を訴えています。また、伊江村でも訓練場周辺住民も同様な状況に加え酪農家の飼育牛の早産や死産と異常な出産が続くなどの被害は見過ごすことはできません。現状把握に努め対策をとるべきであります、県の見解を伺う。</p> <p>(2) 米軍は嘉手納基地の開発計画に伴い文化財調査を予定しているとするがCV22オスプレイ配備に関連していないか懸念されるところである。開発計画の情報開示を米軍に求めることについて伺う。</p> <p>3 健康・長寿の推進に関して</p> <p>(1) 長寿県沖縄の復活のための健康づくりの取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 平均寿命ランキングを落とした原因をどのように分析しているか。</p> <p>4 伝統文化の継承発展に関して</p> <p>(1) 各地域に伝わる祭事や伝統行事等、伝統文化が失われつつある中で伝統文化の継承事業や保存事業は重要であると思うが、その取り組み状況を伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成25年第7回沖縄県議会(定例会)

12月06日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	赤嶺 昇(県民ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 選挙公約に対する仲井真知事の認識を伺う。</li><li>(2) 普天間飛行場移設問題について知事の公約を伺う。</li><li>(3) 中国の防空識別圏設定について知事の見解を伺う。</li><li>(4) 特定秘密保護法案について知事の見解を伺う。</li></ul> <p>2 福祉・医療行政について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 県内の全コンビニエンスストアにAEDの設置を推進してはどうか。</li><li>(2) 県ドクターヘリの課題を伺う。</li><li>(3) 認可外保育園への支援策を伺う。</li></ul> <p>3 商工労働行政について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 県産品販路拡大への支援策を伺う。</li><li>(2) 県内企業・県産品優先活用の取り組みを伺う。</li><li>(3) 駐留軍離職者対策センターの役割と支援策を伺う。</li></ul> <p>4 観光行政について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) OCVBの課題を伺う。</li><li>(2) 観光関連予算・支援策の費用対効果を伺う。</li></ul> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成25年第7回沖縄県議会(定例会)

12月06日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	新垣 清涼(県民ネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 犬、猫殺処分をゼロにするための県の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 沖縄県動物愛護管理センターの役割について</p> <p>(2) 犬、猫殺処分の現状と「ゼロ」にする取り組み、課題について伺う。</p> <p>2 今回の組織改編の趣旨目的を伺う。</p> <p>(1) 公共交通推進室の設置について</p> <p>ア 公共交通推進室の役割について伺う。</p> <p>イ バス利用者の現状について伺う。</p> <p>ウ 定時運行についての取り組みを伺う。</p> <p>エ 鉄軌道導入を含む総合交通体系の計画について伺う。</p> <p>(2) 子育て支援課の設置について</p> <p>子育て支援はどう変わるのか伺う。</p> <p>(3) 自然保護・緑化推進課の設置について</p> <p>観光立県、生活環境の快適性と継続性のある緑化推進体制を伺う。</p> <p>(4) 基地環境特別対策室について</p> <p>役割、人員体制を伺う。</p> <p>3 基地問題等の取り組みについて</p> <p>(1) キャンプ瑞慶覧返還予定地(西普天間地区)の環境問題について</p> <p>返還後の速やかな跡地利用計画を推進するには返還までに環境調査とその対策が必要と考えるが、その取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 普天間基地の危険性を除去し、閉鎖・返還の取り組みについて</p> <p>普天間基地の返還合意の理由は何だったのか伺う。</p> <p>(3) 辺野古新基地建設について</p> <p>県環境生活部は11月29日、米軍普天間飛行場の辺野古移設に伴う埋立申請に関する意見を県土木建築部へ提出した。18項目48件の意見を明記した上で、環境保全策は不明な点があり、周辺区域の生活環境及び自然環境の保全について「懸念が払拭できない」と指摘したとの報道がありますが、不明な点や懸念が払拭できない点は何か伺う。</p> <p>(4) 沖縄県民の基地負担軽減について</p> <p>普天間基地が仮に辺野古に移設されたら県民の基地負担はどのように軽減されるのか伺う。</p> <p>(5) 軍用機による爆音や低周波音による健康影響調査について</p> <p>米軍はオスプレイなどの配備で飛行経路や頻度などに変化があります。県は県民の健康を守る立場から嘉手納基地や普天間基地周辺住民の健康調査を行うべきと考えるが、その取り組みを伺う。</p> <p>(6) 特定秘密保護法案の成立による基地の運用と県民生活への影響について</p> <p>米軍基地の多い沖縄では今でも基地内の情報が県民の手に入らない、入りにくい状況にあります。特定秘密保護法が成立すると基地周辺の住民生活にどのような影響が懸念されますか。</p> <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			

# 一般質問通告表

平成25年第7回沖縄県議会(定例会)

12月06日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	西銘 純恵(共産党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 辺野古新基地問題について</p> <p>(1) 沖縄の復帰時に米国が沖縄の海兵隊を撤退させようとしたが、日本政府が拒んだことがオーストラリアの公文書で明らかになった。安倍政権は、県民を恫喝して「県外移設はあり得ない」、「普天間の固定化」と辺野古新基地を押しつけようとしている。県民総意の建白書は、「オスプレイの配備撤回、普天間の閉鎖・撤去、県内移設断念」である。知事は、県民総意の立場で辺野古埋め立て不承認をすべき。</p> <p>(2) 辺野古新基地を建設すれば、海兵隊基地が沖縄に半永久的に固定化することになる。知事の見解を問う。</p> <p>(3) 沖縄県民は安倍政権の圧力と恫喝に屈しない。知事は固定化の「言葉が出てくること自体、一種の墮落だ」と発言しているが、普天間基地を固定化させない道は、知事が埋め立てを認めないことであり、「普天間基地の即時閉鎖・撤去」を明確に主張することではないか。</p> <p>(4) 世界で一番北にすむ「北限のジュゴン」は、辺野古海域を含む北部沿岸にわずかに残るのみで絶滅の危機に瀕している。防衛局の補正評価書で「ジュゴンは基地建設現場から遠く離れているのでそれほどの悪影響はない」とされた。昨年補正書作成期間中に、埋立予定海域にジュゴンが何度も回遊し目視されている。ジュゴンの保全措置は不可能ではないか。</p> <p>(5) 公有水面埋立法第4条は、埋め立てが環境保全及び災害防止に十分配慮しているかを客観的、科学的に判断されなければならない。防衛局はオスプレイの騒音、飛行場の要件、ジュゴンやサンゴの保全に関する知事意見に全く答えていない。環境保全は不可能ではないか。</p> <p>(6) 政府意見は、辺野古基地建設後の環境保全について、「米軍と十分に調整する」、「機会あることに要請する」となっている。オスプレイの安全合意違反、ヘリ墜落で基地現場に立ち入れない、基地跡地の汚染問題等、これまでもできていないのに解決できる保障はあるのか、見解を問う。</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 県立学校の特別支援員について学校からの要請人数と配置人数、配置しなかった理由は何か。また、発達障害を含めた障害種に応じた丁寧な学習支援が必要だと考えるが、支援員の資格や勤務条件はどうなっているか。</p> <p>(2) 年度途中で支援員を廃止したのがあるか、説明を求める。今年度途中で廃止する予定もあるのか、あればその理由。また、生徒や家族の声はどのようなものか。</p> <p>(3) 八重山教科書問題で、文科省が「是正要求」に従わない県教委を呼びつけて是正要求指示をしたことは、国家権力の不当な政治介入である。県教育委員会の今後の対応について。</p> <p>3 医療行政について</p> <p>(1) 県立北部病院の医師不足の実態を問う。県民の医療を守るために医師を確保するのは福祉保健部の重要な職務と考えるが、深刻な北部病院などの医師確保にどのような対策をしているか。</p> <p>(2) 離島苦解消のために一括交付金を活用して、宮古や八重山のがん患者が切望している放射線治療機を宮古病院と八重山病院に設置して、患者や家族の経済的、精神的負担の軽減を図ること。</p>			

- (3) 沖縄県は、国内で4カ所しか設置されていない重粒子線治療施設の導入に向けた調査を行っているが、整備費、運営費、完治までの治療費全てのがんに効果があるのかを問う。これまでの調査費用はどれだけか。宮古病院で必要な放射線治療機は4億円というが何機分になるか。沖縄に今必要な施設か、優先すべきは宮古や八重山の放射線治療機ではないか。
- 4 厚労省は、介護保険制度を改悪して「要支援」の認定者を保険給付の対象外にしようとしている。認知症は初期段階でケアを受けることが重症化の予防となり、通所や訪問介護を受けて日常生活を送っている要支援者を保険給付から除外することは、重症化に進み、介護保険財政の圧迫にもつながるものである。県内の要支援者は何人いるのか。政府に対し要支援者への保険給付の継続を求めるべきではないか。
- 5 ひとり暮らしの高齢者が、高齢を理由に入居できない深刻な相談がある。高齢者の居住確保のための対策を問う。また、高齢者住宅財団の「高齢者債務保証制度」はいつ利用できるのか。早急に利用できるようにすることについて
- 6 オスプレイ配備問題について
- (1) オスプレイの強行配備後、県内各地でのヘリモード低空飛行、夜間訓練、爆音被害など「日米合意」は全く守られていない。県の調査結果によるオスプレイの飛行・訓練経路でどのような公共施設が何カ所あり、何人が生活をしているのか。
- (2) 米国防総省監査室の報告書で、オスプレイの機体整備や関連書類に多数のミスがあり、海兵隊のデータは「信頼できない」と報道されていることへの見解を問う。
- (3) 知事は、県民の命と安全を脅かすオスプレイの配備撤回を強く求めるべき。
- (4) 名護市長意見で、辺野古新基地でオスプレイ24機の安全・環境保全措置について、実効性ある措置が全く示されていない。低周波音の深刻な被害に対する対策が示されていないと指摘されている。見解を問う。
- 7 那覇港湾開発事業と浦添新軍港問題について
- (1) 那覇港管理組合の設立当初計画の目標年度と貨物取扱目標と実績、外貿公共コンテナ貨物の目標数と実績について
- (2) ガントリークレーンが設置されていない平成9年(1997年)のコンテナ貨物取扱数、ガントリークレーンが2基体制になった平成17年(2005年)の貨物数、及び2012年の貨物数について
- (3) ガントリークレーン1号基と2号基のそれぞれの稼働率及び週当たりと1日当たり稼働時間は何時間か。一括交付金があるからと1基当たり12億円、2基のガントリークレーンを設置するのは必要性も採算性もない無駄使いではないか。見解を問う。
- (4) 浦添西海岸は、どのような動植物が生息して自然環境はどうなっているか。沖縄県の世界自然遺産登録の妨げとなるのではないか。
- (5) 浦添新軍港建設のための政府の環境アセス予算額と完成までの推計予算額及び今後の日程を問う。知事は新基地となる浦添軍港建設を認めるのか。
- 8 我が党の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成25年第7回沖縄県議会(定例会)

12月06日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	玉城 満(県民ネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 辺野古埋め立て判断の選択種で承認、不承認以外に「保留」発言されているが、その保留の真意を伺う。</p> <p>(2) 自民党幹部や政府高官の相次ぐ「普天間の県外移設はありえない」発言に対する知事の見解を伺う。</p> <p>(3) 特定秘密保護法案の沖縄県への影響と法案に対する知事の見解を伺う。</p> <p>(4) 日米両政府による圧政、基地の押しつけを受け、県民の間では沖縄独立の気運が高まっているが、「沖縄独立」に対する知事の見解を伺う。</p> <p>2 文化観光スポーツ部関係について</p> <p>(1) 沖縄観光コンベンションビューローについて</p> <p>ア プロモーション事業のあり方について伺う。</p> <p>イ 随意契約による事業の正当性について伺う。</p> <p>(2) 県内資本ホテルの数とここ10年の経緯について伺う。</p> <p>(3) 地元中小零細観光業社(ホテル・観光卸売・お土産等)に対する支援はどうなっているのか伺う。</p> <p>(4) 観光オフシーズン対策について伺う。</p> <p>(5) 県内各観光協会への提携と支援について伺う。</p> <p>(6) 琉球芸能の海外公演の成果について伺う。</p> <p>(7) 県内民謡協会の数と今後の県のかかわりについて伺う。</p> <p>(8) しまくとぅば普及推進計画のあらましを伺う。</p> <p>3 商工労働部関係について</p> <p>(1) 駐留軍離職者センターの県の支援について伺う。</p> <p>(2) 県内外の泡盛需要の推移とこれからの支援について伺う。</p> <p>(3) かりゆしウエアの需要の推移とこれからの支援について伺う。</p> <p>(4) 65歳まで雇用の県内企業の実態について伺う。</p> <p>4 企画部関係について</p> <p>(1) わったーバス党の効果について伺う。</p> <p>(2) 鉄軌道導入に当たり各地方自治体、広域圏との調整は順調か県の対応を伺う。</p> <p>5 福祉保健部関係について</p> <p>(1) 障害者就労支援継続事業の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) がん重粒子線治療施設の県の取り組みについて伺う。</p> <p>6 環境生活部関係について</p> <p>(1) 沖縄市サッカー場工事現場で発見されたドラム缶問題の進捗について伺う。</p> <p>7 教育委員会関係について</p> <p>(1) 県内小中学校のしまくとぅば活用について伺う。</p>			



(2) 学校給食の県産品・琉球料理の活用について伺う。  
8 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成25年第7回沖縄県議会(定例会)

12月06日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	玉城 ノブ子(共産党)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 公有水面埋立申請について

- (1) 公有水面埋立申請の不承認を求める稲嶺市長の意見書は、名護市の「自然環境破壊」、「オスプレイ等の航空機の騒音、低周波音や墜落の危険性」など、生活環境の破壊を懸念する2500件を超える市民意見が反映された99%が反対意見であることが示された。名護市議会の議決で提出された意見書を知事は尊重し、埋立申請を承認すべきではありません。知事の所見を伺います。
- (2) 公有水面埋立申請で示された県内の海砂採取地区は、ジュゴンが餌場としている海草藻場付近の海域も含まれ、大量の土砂採取が絶滅危惧種であり国の天然記念物であるジュゴンの生息環境に深刻な打撃をもたらすこととなります。知事は、埋立申請の可否については、貴重生物の生態系や環境面への影響を考慮して判断していくとの姿勢を示していますが、知事の所見を伺います。
- (3) 辺野古埋立申請で県生活環境部は、18項目48件の意見書を県土木部に提出した。埋め立てによって環境保全措置や外来種の生態系への影響、ジュゴンや航空機騒音による被害等、いずれも具体的な対策は示されず環境への重大な影響は避けられないとなっています。辺野古・大浦湾の海は世界遺産登録の候補地であり、沿岸域は県の環境保全指針でランク1に評価されている地域です。公有水面埋立法では、環境保全や災害防止について十分な配慮がなされていない場合、知事は免許を与えてはならないとなっている。埋立申請は、不承認にすべきです。

### 2 オスプレイ撤去について

- (1) オスプレイの爆音、低周波音で人体、畜産への影響について、県は調査を実施していますか。今後の対策について伺います。
- (2) 伊江島に新たなオスプレイの着陸帯を増設しているが、実態はどうなっていますか。9月・10月の訓練回数について伺います。訓練が激化し、住民生活に甚大な影響をもたらしている飛行訓練の中止を求めよ。
- (3) 24機体制になったオスプレイの飛行訓練が「日米安全合意」に反する。住民地域上空や夜間訓練の激化で住民の生命や安全が脅かされている。その実態を把握していますか。対策について伺います。オスプレイの飛行訓練中止、撤去を求めていくべきではないか。

### 3 特定秘密保護法の廃案を求めることについて

国民の目、耳、口を塞いで基本的な人権を踏みにじり、日本をアメリカとともに「海外で戦争をする国」につくりかえ、沖縄を再び戦争の惨禍に巻き込む特定秘密保護法は絶対に許すことはできません。知事は断固反対を表明すべきです。

### 4 TPP交渉からの即時撤退について

安倍政権は、TPP交渉で米国を初め他の参加国から100%の関税撤廃を迫られ、砂糖を初め重要5品目の検討作業に着手しています。「守るべきものが守れない」事態がいよいよ明白になっています。知事は、沖縄のサトウキビを初め地域経済を崩壊させ、医療、労働、公共事業にも大きな打撃を与えるTPPからの即時撤退を要求して行動を起こしていくべきです。

### 5 生活保護について

- (1) 憲法25条で保障する生存権を脅かす生活保護法の改悪が強行されようとしています。貧困問題が深刻化している中で保護を申請する権利を奪い、「生存権」をも脅かす生活保護改悪法案の撤回を求めることについて伺います。
- (2) 生活保護法では、親族による扶養は生活保護の支給要件になっていません。しかし、保

護申請の窓口では扶養義務が保護を受けるための要件であると誤認させるものになっています。その実態を把握していますか。改善を図ることについて伺います。

6 農業、水産業の振興について

- (1) 農水産部の加工、流通、販売の一貫体制を確立する6次産業の取り組みと今後の対策について伺います。
- (2) 認定件数(ハード・ソフト)。
- (3) 事業開始件数。
- (4) 農家、農水産業生産法人等への県独自の支援を実施すること。
- (5) 6次産業化を支援する県、市町村、農協、漁協、生産者が連携できる体制づくりと、加工、流通拠点施設の建設を推進することについて伺います。
- (6) 島野菜の普及促進について
- (7) 糸満市西区の漁具倉庫建設について

7 高校、小中学校の空調施設整備について

- (1) 実態調査の実施と整備計画について伺います。
- (2) 糸満市内の小中学校は、猛暑に加え那覇空港の航空機騒音で小中学校の教育環境が悪化しています。その実態を調査していますか。現国土交通省、文科省補助対象の空調設備の整備状況はどうなっていますか。一括交付金を活用しての整備と、今後の対策について伺います。
- (3) 亜熱帯気候の沖縄で、一括交付金を維持費に活用することについて伺います。

8 公営住宅建設について

- (1) 全国平均で2万戸も不足している公営住宅の増設計画について伺います。
- (2) 老朽化した県営団地の実態調査と建てかえ計画について伺います。
- (3) 県営西崎第一団地は、老朽化が進み雨漏り、水漏れ、強風対策に不備が生じ、生活環境が著しく悪化しています。実態を調査し、改修を進めることについて伺います。

9 我が党の代表質問との関連について